

弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

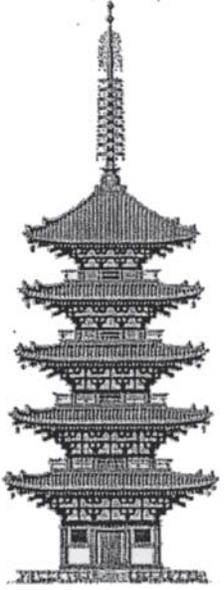
皆さん、こんにちは。いよいよ夏本番。暑さに負けず、頑張りましょう。さて、紙上遍路のかわら版。残すは十一ヶ寺。頑張って打ち通しましょう。今月も元気に出發です。

★厄除うたづ大師

七十七番から約七・二キロメートル、七十八番は宇多津町の**仏光山(ぶっこうざん)** 郷照寺(ごうしょうじ)。

開基は**行基菩薩**。当初は**道場寺**と称し、ご詠歌にもその寺名が登場します。お大師様は自らの像を彫り、厄除祈願して奉納。厄除うたづ大師と呼ばれて今でも広く侵攻されています。

宇多津は往事から港町として栄え、**理源大師(聖宝)**、**恵心僧都(源信)**、**道範阿闍梨**など、多くの高僧が来山。一遍上人が三ヶ月逗留したのを契機に、高松藩初代藩主**松平頼重**



公が寺名を郷照寺に改め、宗派も四国霊場で唯一の**時宗**としました。境内からは、瀬戸内海にかかる**瀬戸大橋**が一望できます。

★天皇寺と天皇社

七十八番から約六・六キロメートル、宇多津から坂出に入ると右手の**金山(かなやま)** 中腹にあるのが七十九番、**金華山天皇寺**。この地に**日本武尊**ゆかりの**弥蘇場(やそば)**と呼ばれる泉があります。お大師様が泉を訪れた際、**金山権現**が現れ、仏法守護を命じて**宝珠**を託しました。お大師様は宝珠を嶺に埋め、寺を**摩尼珠院**と号しました。

保元の乱に敗れた**崇徳(すどく)** 上皇が讃岐に流され、四十六歳で崩御。弥蘇場の泉に仮安置され、**白山**で茶毘にふされたことから、**摩尼珠院**は**天皇寺**とも呼ばれるようになります。やがて**二条天皇**が鎮魂のために**天皇社**を造営。天皇寺の住職は天皇社の**別当**に任じられました。

明治政府の**廃仏毀釈**、**神仏分離令**によって、**摩尼珠院**は**廃寺**、**天皇社**は**白峰宮**と改称。その後、末寺の**高照院**が当地に移って以来、**金山高照院**と**天皇寺**と呼ばれ、隣接

する**白峰宮**とともに今日に至っています。



四国八十八ヶ所霊場マップ(七十八番から、八十一番)

★四国最古の梵鐘

七十九番から約八キロメートル、八十番は**白牛山(はくぎゅうざん)** **國分寺**。

天平十三年(七四一年)、**聖武天皇**が国家安穩、五穀豊穰を祈願して、全国六十八ヶ所に**國分寺**建立を下命。

讃岐國分寺の落慶は天平勝宝八年(七五六年)。寺領二町四方(約五万平方メートル)の大寺院でした。

境内に残る**疎石**三十三個から推計される創建当時の本堂(金堂)の大きさは**奈良唐招提寺**の金堂に匹敵。山門の右手には**七重塔**の十五個の礎石。**京都東寺**の五重塔を上回る高さでした。**天正の兵火**によって堂宇のほとんどを焼失しましたが、創建当時の**梵鐘**が現存。**四国最古**、重さ一・二トン、由来伝説の多い梵鐘です。

★頓証寺殿(白峯御陵)

八十番から約七・五キロメートル、八十一番は**綾松山(りょうしょうざん)** **白峯寺(しろみねじ)**。七十九番**天皇寺**と同様に、**崇徳上皇**に由来します。

上皇崩御後、**二条天皇**が**天皇社**を造営した後も、都では異変が頻発。そのため、崩御後二十六年目に**後鳥羽天皇**が上皇の霊を祀る廟所として**法華堂**を建立。現在は**頓証寺殿(白峯御陵)**と呼ばれています。

現在の高松市と坂出市にまたがる**山岳**地域は、**白峰**のほかに、**青峰**、**黒峰**、**紅(赤)峰**、**黄峰**を含む十以上の峰々から構成され、**五色台**と呼ばれています。

お大師様の甥、**智証大師(円珍)**が、瀬戸内海で引き上げた**異香**、**異光**を放つ**流木**で彫った**千手観音**が本尊として祀られています。

★捨身ヶ嶽

残すところ七ヶ寺。来月は、五色台の**青峰**に建つ八十二番、**根来寺**から。乞ご期待。

